



## 平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年10月10日

上場会社名 株式会社MORESCO 上場取引所 東  
 コード番号 5018 URL <http://www.moresco.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 赤田 民生  
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 管理本部長 (氏名) 宮川 弘和 TEL 078-303-9010  
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月10日 配当支払開始予定日 平成26年11月13日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績（平成26年3月1日～平成26年8月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	12,842	16.2	988	29.6	1,112	24.0	651	21.4
26年2月期第2四半期	11,046	10.5	763	59.0	897	62.8	536	69.7

(注) 包括利益 27年2月期第2四半期 603百万円 (△37.7%) 26年2月期第2四半期 967百万円 (191.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	67.31	—
26年2月期第2四半期	62.08	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年2月期第2四半期	21,525	11,609	48.8	1,086.33
26年2月期	19,657	11,187	51.7	1,050.34

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 10,502百万円 26年2月期 10,154百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	12.50	—	17.50	30.00
27年2月期	—	17.50	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	17.50	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成27年2月期の連結業績予想（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,300	15.1	2,100	15.5	2,400	19.3	1,350	11.4	139.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社（社名）天津莫莱斯柯科技有限公司、除外 1社（社名）
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
  - ② ①以外の会計方針の変更：無
  - ③ 会計上の見積りの変更：無
  - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年2月期2Q	9,668,000株	26年2月期	9,668,000株
② 期末自己株式数	27年2月期2Q	578株	26年2月期	578株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年2月期2Q	9,667,422株	26年2月期2Q	8,633,531株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想は本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、

【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当社は平成26年10月20日に機関投資家・アナリスト向け説明会（東京）を開催する予定です。この説明会で配布する説明資料につきましては、平成26年10月17日に当社ホームページに掲載する予定です。

※ 金額単位の変更について

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間および第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更しました。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10
(1) 製品およびサービスに関する情報	10
(2) 海外売上高	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げにともなう駆け込み需要の反動が長引いており、期待されたほどの景気回復力が感じられない状況が続いております。一方で、雇用の回復や堅調な個人消費にともなう安定した米国経済を背景に再び円安が進み始めました。中国経済は、構造的な不安材料を抱えながらも7%台なかばの高い成長率を維持していますが、東南アジア諸国をはじめとする新興国は政治的問題や財政問題等により成長率が鈍化し始めております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、昨年度に日華化学㈱から譲り受けたダイカスト用油剤、熱間鍛造潤滑剤事業の売上高が増加した他、インドネシアでは紙おむつ用ホットメルト接着剤の生産が順調に拡大し、売上高増に貢献しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は12,842百万円（前年同期比16.2%増）となり、経常利益は1,112百万円（前年同期比24.0%増）、四半期純利益は651百万円（前年同期比21.4%増）となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

#### ①日本

##### (特殊潤滑油)

自動車メーカーおよび自動車部品メーカーを主たる顧客とする特殊潤滑油では、消費税率の引き上げにともなう駆け込み需要の反動減はあったものの、日華化学㈱から譲り受けたダイカスト用油剤、熱間鍛造潤滑剤事業が寄与し売上高は堅調に推移しました。また、水溶性切削油剤では新規顧客の獲得と既存顧客への出荷が増加し順調に売上高を伸ばしました。

##### (合成潤滑油)

自動車用電装部品のベアリング軸受用グリースの基油として世界的にシェアが高い高温用合成潤滑油は、中国や北米を中心とする自動車生産が下支えとなり、売上高は堅調に推移しました。また、ハードディスクドライブの生産台数は横ばいですが、ハードディスク表面潤滑剤の新製品への移行が進み、売上高は前年同期を上回りました。

##### (素材)

流動パラフィン、リチウムイオン電池のセパレータ生産向けが好調に増加した他、化粧品原料用途も堅調に推移しました。また、金属加工油の添加剤として使用される石油スルホネートの売上高も、堅調に推移しました。

##### (ホットメルト接着剤)

主力である大人用紙おむつなどの衛生材向けや粘着剤用途については、消費税増税の影響が長引いており、ほぼ前年同期並みの売上高となりました。また、空気清浄機フィルター用接着剤の売上高は堅調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は10,203百万円（前年同期比12.0%増）となり、セグメント利益は574百万円（前年同期比6.0%増）となりました。

#### ②中国

中国では、引き続き自動車生産台数の安定した伸びに支えられ、ダイカスト用油剤、難燃性作動液等が前年同期の売上高を大きく上回った他、ホットメルト接着剤も堅調に推移しました。

当セグメントの売上高は1,183百万円（前年同期比17.9%増）となり、セグメント利益は142百万円（前年同期比77.1%増）となりました。

#### ③東南アジア

政治情勢が依然不透明なタイでは、自動車生産台数が前年同期比で減少する中、日華化学㈱から譲り受けたダイカスト用油剤、熱間鍛造潤滑剤事業が売上高に大きく貢献しました。

インドネシアでも、熱間鍛造潤滑剤事業が特殊潤滑油の売上高を押し上げました。また、子供用紙おむつ向けホットメルト接着剤の生産も順調に拡大しました。

当セグメントの売上高は1,741百万円（前年同期比38.9%増）となり、セグメント利益は211百万円（前年同期比98.3%増）となりました。

## ④北米

北米では、好調な自動車生産を背景に、自動車関連顧客向け販売が順調に推移するとともに、ダイカスト用油剤等の新規ユーザーの獲得等により売上高が増加しました。また、高温環境下で使用する合成潤滑油の需要も着実に拡大し、さらに日華化学㈱から譲り受けた熱間鍛造潤滑剤事業が売上高に大きく貢献しました。

当セグメントの売上高は346百万円（前年同期比108.1%増）となり、セグメント利益は36百万円（前年同期比291.1%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて1,869百万円増加し、21,525百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が989百万円、受取手形及び売掛金が386百万円、たな卸資産が420百万円、有形固定資産が327百万円増加したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べて1,447百万円増加し、9,916百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が488百万円、短期借入金が388百万円、長期借入金が516百万円増加したことによります。

純資産は、利益剰余金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べて422百万円増加し、11,609百万円となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前第2四半期連結会計期間末に比べて42百万円減少し、2,438百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは1,011百万円の収入（前年同期は502百万円の収入）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費の計上および仕入債務の増加等によるキャッシュ・イン・フローが売上債権の増加、たな卸資産の増加および法人税等の支払額等によるキャッシュ・アウト・フローを上回ったこと等によります。

投資活動によるキャッシュ・フローは692百万円の支出（前年同期は1,652百万円の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは704百万円の収入（前年同期は2,597百万円の収入）となりました。これは、長期借入れによる収入等によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年4月11日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結累計期間において、天津莫莱斯柯科技有限公司を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,724	2,713
受取手形及び売掛金	5,911	6,296
商品及び製品	2,048	2,214
原材料及び貯蔵品	1,230	1,484
その他	421	359
貸倒引当金	△38	△20
流動資産合計	11,296	13,045
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,195	1,214
機械装置及び運搬具（純額）	1,048	1,003
土地	2,425	2,423
その他（純額）	408	765
有形固定資産合計	5,077	5,404
無形固定資産		
のれん	1,238	1,175
その他	396	414
無形固定資産合計	1,634	1,589
投資その他の資産	1,650	1,487
固定資産合計	8,361	8,480
資産合計	19,657	21,525

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,443	4,931
短期借入金	1,082	1,471
未払法人税等	198	181
賞与引当金	397	399
その他	738	911
流動負債合計	6,858	7,892
固定負債		
長期借入金	1,156	1,671
長期末払金	64	63
退職給付引当金	268	180
その他	124	110
固定負債合計	1,612	2,024
負債合計	8,469	9,916
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,091	2,091
資本剰余金	1,951	1,951
利益剰余金	5,691	6,172
自己株式	△0	△0
株主資本合計	9,731	10,213
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	65	61
為替換算調整勘定	358	228
その他の包括利益累計額合計	423	289
少数株主持分	1,033	1,107
純資産合計	11,187	11,609
負債純資産合計	19,657	21,525

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	11,046	12,842
売上原価	7,727	8,966
売上総利益	3,320	3,876
販売費及び一般管理費	2,557	2,888
営業利益	763	988
営業外収益		
受取利息	5	9
受取配当金	9	10
持分法による投資利益	73	74
為替差益	57	18
その他	22	31
営業外収益合計	166	141
営業外費用		
支払利息	13	10
株式交付費	12	—
その他	6	8
営業外費用合計	32	17
経常利益	897	1,112
税金等調整前四半期純利益	897	1,112
法人税、住民税及び事業税	181	249
法人税等調整額	88	97
法人税等合計	269	346
少数株主損益調整前四半期純利益	628	766
少数株主利益	92	115
四半期純利益	536	651



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	628	766
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10	△2
為替換算調整勘定	278	△134
持分法適用会社に対する持分相当額	52	△27
その他の包括利益合計	340	△163
四半期包括利益	967	603
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	794	517
少数株主に係る四半期包括利益	174	86

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	897	1,112
減価償却費	273	338
持分法による投資損益(△は益)	△73	△74
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△70	△87
賞与引当金の増減額(△は減少)	21	2
貸倒引当金の増減額(△は減少)	12	16
受取利息及び受取配当金	△14	△18
支払利息	13	10
売上債権の増減額(△は増加)	△843	△447
たな卸資産の増減額(△は増加)	△263	△447
仕入債務の増減額(△は減少)	578	528
その他	△1	256
小計	530	1,188
利息及び配当金の受取額	93	96
利息の支払額	△12	△9
法人税等の支払額	△117	△263
法人税等の還付額	8	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	502	1,011
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	△1	△2
有形固定資産の取得による支出	△169	△653
無形固定資産の取得による支出	△78	△33
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
貸付金の純増減額(△は増加)	1	2
事業譲受による支出	△1,404	—
その他	△1	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,652	△692
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	350	200
長期借入れによる収入	1,400	1,000
長期借入金の返済による支出	△157	△296
配当金の支払額	△106	△170
少数株主への配当金の支払額	△3	△12
株式の発行による収入	1,129	—
その他	△16	△19
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,597	704
現金及び現金同等物に係る換算差額	19	△25
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,465	997
現金及び現金同等物の期首残高	1,015	1,441
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,480	2,438

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,629	1,000	1,251	166	11,046	—	11,046
セグメント間の内部 売上高又は振替高	484	3	3	—	490	△490	—
計	9,113	1,003	1,254	166	11,536	△490	11,046
セグメント利益	542	80	106	9	737	26	763

(注) 1. セグメント利益の調整額26百万円には、セグメント間取引消去27百万円、たな卸資産の調整額△1百万円および貸倒引当金の調整額0百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年8月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,590	1,178	1,738	336	12,842	—	12,842
セグメント間の内部 売上高又は振替高	613	5	4	10	632	△632	—
計	10,203	1,183	1,741	346	13,473	△632	12,842
セグメント利益	574	142	211	36	963	26	988

(注) 1. セグメント利益の調整額26百万円には、セグメント間取引消去25百万円、たな卸資産の調整額1百万円および貸倒引当金の調整額0百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 4. 補足情報

## (1) 製品およびサービスに関する情報

当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年8月31日)

外部顧客への売上高	金額(百万円)	前年四半期比(%)
化学品事業	12,815	116.3
特殊潤滑油	5,876	120.8
合成潤滑油	1,255	107.9
素材	2,047	114.7
ホットメルト接着剤	2,996	114.4
その他	640	109.2
賃貸ビル事業	27	100.5
合計	12,842	116.2

## (2) 海外売上高

当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年8月31日)

	アジア	北米	その他の地域	計
I. 海外売上高(百万円)	3,753	498	61	4,312
II. 連結売上高(百万円)				12,842
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合(百万円)	29.2	3.9	0.5	33.6

(注) 1. 地域区分は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

アジア……………中国、インドネシア、タイ、シンガポール

北米……………米国、メキシコ

その他……………ベルギー

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。